

第31歩 金のポストと青のカップ

10月中旬、JR高松駅の駅前広場に金色の珍しい郵便ポストがお目見えをしました。国と日本郵便などが進める「ゴールドポスト」プロジェクトで設置されたものです。この夏に開催された東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会において、金メダルを獲得した日本代表選手にゆかりのある地域の郵便ポストを金色に塗り替え、その栄光をたたえるとともに、選手等を輩出した地域を盛り上げていこうというものです。

高松駅前の「ゴールドポスト」に名前が刻まれたその人は、フェンシング男子エペ団体の宇山賢選手。本市の出身者では初めてとなるオリンピック金メダリストです。高松駅を利用する多くの人たちが、この金色のポストを見て、宇山選手のオリンピックでの活躍を思い起こして元気もらい、「頑張ろう」という気持ちになれば良いと思います。また、このポストに手紙やはがきを投函すると良いことがある、と信じていただけるような都市伝説ができることを、勝手に期待しています。

宇山選手には、高松市市民栄誉賞も贈呈しました。これは、本市市民あるいは本市にゆかりの深い個人または団体で、郷土の誇りとなり、広く市民に敬愛される方を表彰し、その栄誉をたたえることを目的に平成12年に創設された賞です。宇山選手はその時に受賞された中西太氏以来、21年ぶり2人目の受賞者となりました。

表彰に際して、台座が庵治石で、上部のカップの部分が庵治石の粉をガラスに溶かし込んだ「庵治石ガラス」により作成された記念品をお渡しいたしました。これは、宇山選手が、庵治石の産地である五剣山の麓にある高松北中学校及び高松北高等学校に通いながらフェンシングに励まれたことに因んだものです。庵治石ガラスの透き通るような青色に瀬戸内海を重ね、郷土高松を感じていただきたいと思います。

このように、宇山選手の偉業を地元では金のポストと青のカップでお祝いしました。スポーツの分野に限らず、今後、宇山選手に続いて、世界に羽ばたく人材が、本市から数多く輩出されることを願っています。

